

# 総合格闘技をどのように意味づけるのか —女子選手の語りから—

藤川 優 (競技スポーツ学科 スポーツ情報戦略コース)

指導教官 豊田 則成

キーワード：女子格闘技，社会的性役割，自分らしさ

## 1. 緒言

本研究は、「女子格闘技選手は総合格闘技をどのように意味づけるのか」というリサーチクエスション (Research Question: 以下 RQ) の下、質的にアプローチし、総合格闘技についての語りに着目した。そこから、発展継承可能で有益な仮説的知見を導き出すことを目的とした。

## 2. 方法

インタビュー調査の対象者となったインフォーマント (Informant: 情報提供者. 以下 Inf.) は、総合格闘技をしている女子格闘技選手 6 名 (Inf.A~F) であった。インタビューマニュアルをもとに、1 人あたり 1 時間程度 (1 対 1 形式) の半構造化インタビューを実施した。

## 3. 結果と考察

本研究は、上記の RQ の下、総合格闘技に対する語りについて、<総合格闘技と出会う>、<総合格闘技に夢中になる>、<社会との価値

観のズレに葛藤する>、<新たな価値観を獲得する>、<自己の存在を実感する>という 5 つのコアカテゴリーが生成された。そして Fig.1 には、「女子格闘技選手が総合格闘技を通じて自分らしさを獲得していくプロセス」(下部参照) を示した。

## 4. まとめ

本研究では、「女子格闘技選手は総合格闘技をどのように意味づけるのか」という RQ に対し、『女子格闘技選手は、総合格闘技と出会い、夢中になる中で社会との価値観のズレに葛藤する。その夢中と葛藤を繰り返す中で、徐々に格闘技の魅力に引き込まれていき、新たな価値観を獲得する。そして、自己の存在価値を実感するものとして意味づける。』という仮説的知見が導き出された。すなわち、女子格闘技選手は総合格闘技を通して【自分らしさを構築する】として意味づけていると言える。

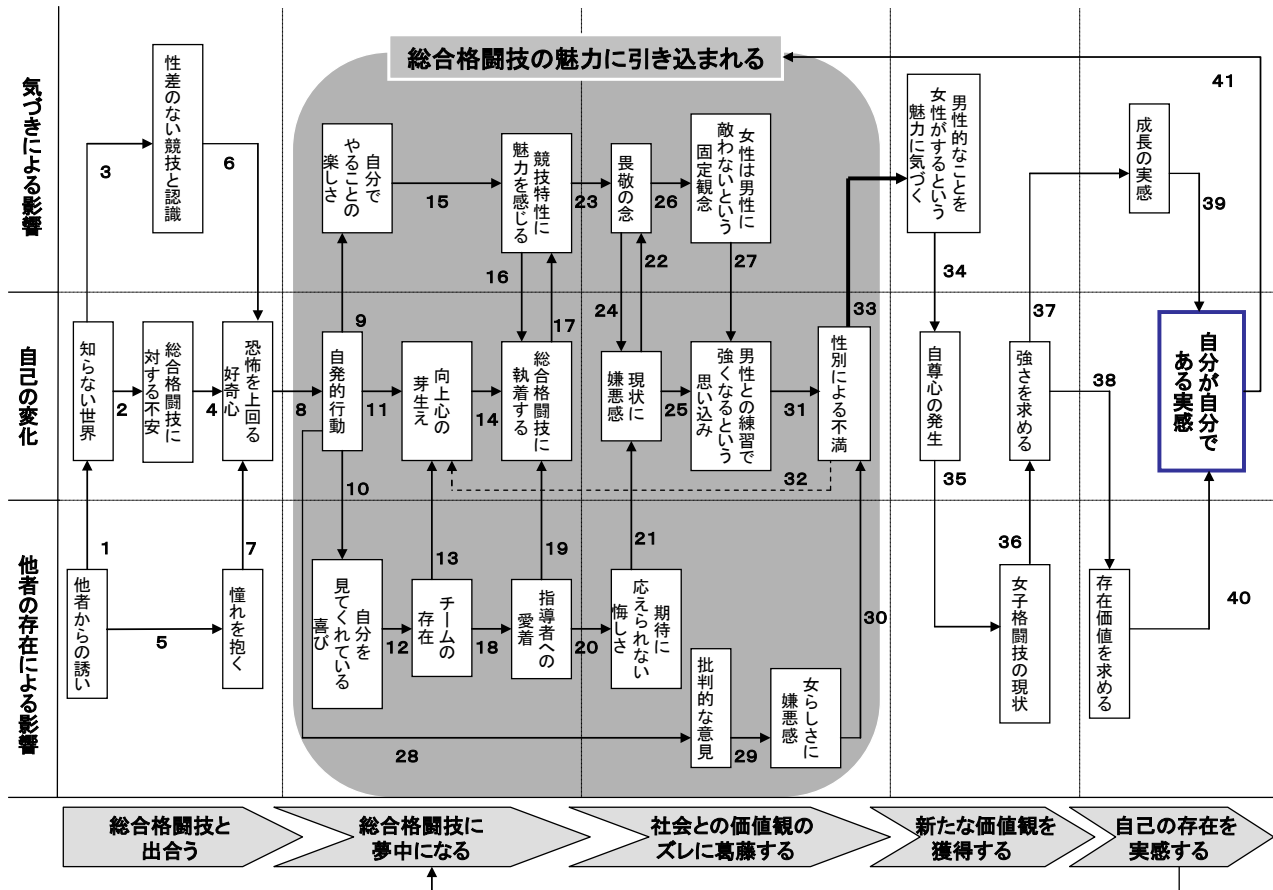


Fig.1: 女子格闘技選手が総合格闘技を通じて自分らしさを獲得していくプロセス